

総合基本計画審議会（第2回）議事録

1 日時 令和5年11月21日（火） 13:30～14:50		【第2回 審議会】
2 場所 本庁 大会議室		
3 出席状況 唐津市総合基本計画審議会委員 20名（※11名欠席） 事務局：政策部（市政戦略課） 森課長、通山係長、犬丸副主査、桑原職員 支援事業者：有限責任監査法人トーマツ 堤氏		
議 事 内 容		
1 開会		
2 あいさつ		会長
● 本日はお忙しい中、委員の皆様に参加いただき感謝申し上げます。 ● 今回の議題は大きく2つ、基本構想骨子案パブリックコメントまでのスケジュールと、基本構想フレーム及び体系案についてである。 ● 事務局からの提案後、皆様から意見を頂戴し議論したい。		
3 議題		
(1) 基本構想骨子案について		
① パブリックコメントまでのスケジュールについて 事務局より議事内容を説明 (説明資料) 資料1 基本構想骨子案パブリックコメントまでのスケジュール		事務局
○ インターネット市民投票については、PCやスマートフォンから回答できるのか。		委員
○ 基本的にはスマートフォンでの回答を想定しているが、PCを使った回答も可能な形式にしたいと考えている。		事務局
② 次期総合計画の基本構想フレーム及び体系案について 事務局より議事内容を説明 (説明資料) 資料2 次期総合計画の基本構想フレーム（案） 資料3 次期総合計画の体系（案） 参考資料 施策体系案の作成経緯等		事務局
● テキストマイニングについて印象として非常に内向きだと感じた。人と人との繋がるというのは良いことだと思うが、例えば海外に目を向けるとか、インバウンドの売上を上げるとか、外と繋がるという意識が低いと感じた。観光都市と言われる唐津市で、景色だけでなく文化の部分を強化すればよいのではないか。唐津焼美術館のあり方について、作るべきであるという認識がかつて市にあったはずだが現状実現していない。唐津焼などの文化的なポテンシャルをいかにして高めるか、そうした施策や事業が強化されるべきだと感じる。		委員

○ 新しい何かをするなど、もっと外に目を向けるという視点が欲しい。共働き世帯やパートタイムで子育てをされている方への支援など、細かいところまで支援が行き届けば良いまちになると思う。	委員
○ まずは施策体系案として大きなフレームを本日お示ししたところであるので、頂いたご意見を踏まえて検討したい。	事務局
○ コロナなどの情勢を踏まえて、健康分野について医療関係を強化する施策があってもよいと考える。	委員
○ 事務局への質問になるが、施策体系中にある基本姿勢の1つ「多様な主体の活躍」は具体的にどのような形で全施策を支えるのかイメージは定まっているか。	委員
○ 具体的なイメージは今後よく検討したいが、基本姿勢としながらも基本施策において市民協働の中などでも示す必要があると考えている。	事務局
○ 2つの基本姿勢が具体的に、施策をどのようにして構造的に支えるのか、どのように施策に紐づくのかよく検討すべきと思う。例えば、必要に応じてその都度プロジェクトを発足するなどして機能させるなどが考えられる。	委員
○ 林業の振興については、産業としての捉え方だけではなく、市民協働の観点もある。様々な多角的な違う視点が欲しいと感じており、唐津市をとりまく環境の全体を見て分野や施策を検討すると、違うアイデアも出てくるのではないかと感じた。	委員
○ 現施策体系案は行政分野で見ているイメージが強いので、今後整理したいと思う。特にカーボンニュートラルなど他分野にまたがる部分があることは理解しているため、どのように整理していくかは研究していきたい。	事務局
● 他市の取組事例（金沢市）であるが、他自治体と比較してどこが優れているかを研究していた。唐津市としても、伸ばす、強化する部分をはっきりと示せれば良いと考える。	委員
○ 次期総合計画の体系案中、「支える」の部分にある「多様な主体の活躍」について、主体とは具体的にどのような方たちのことを示すのか。	委員
○ 現状イメージするところは、行政、町内会、事業所、ボランティア団体やもちろん市民個人も含めて考える。定義については、今後よく整理し検討したい。	事務局
○ 人口が減っている要因は検証できているか。	委員
○ 論点データ集といった形で人口分析を実施するが、1つの大きな要因としては社会減が考えられる。高校・大学卒業時の働き先を求めての市外転出や、その後、唐津市に戻って来る流れを作れていないのが社会減の要因になっていると分析している。	事務局
○ 総合計画は市民の方には馴染みがあまりなく、なかなか理解するのは難しいものだと思うがいかに考えるか。	委員

○ 市民への分かりやすさは概要版の作成も含めて追求していく。	事務局
○ 形骸化防止のための市職員の意識、関与のあり方はどのように考えるか。	委員
○ 総合計画策定に関する会議体を細かく階級別に開催している。組織全体で計画策定できる仕組みとしているため、職員に対する意識付けもできていると考えている。	事務局
○ 現行計画の検証などはどのように進めるのか。	委員
○ 来年度にかけて今後検証していく予定である。	事務局
● 人口減少は大きなトピックになるため、次期総合計画の中でもビジョンをしっかりと示すことができればと思う。高校や大学を卒業した人の働く場をいかにして行政が確保していくかが重要と考える。	委員
○ 財源の問題で唐津の魅力を引き出せていない現状があり、それが他市に人が流れてしまう要因にもなっていると考えている。	委員
○ 子育ての分野については、何歳までを対象として捉えているか。	委員
○ 基本的には18歳までと捉えている。	事務局
○ NPOの子育て支援情報センターについて大手ロセンタービルにサテライトがあったが、今は厳木地区となっている。不便であるし、改善を望む声をあげているが、なかなか届いていないように思う。現場レベルではこういった問題が発生しているため、総合計画で子育ての分野が強化されるのであれば、現場レベルの問題解決なども今後期待したい。	委員
○ サテライトの件については、こども家庭課に意見を伝えておく。	事務局
○ 兵庫県の豊岡市が人口減少に歯止めをかけられた事例都市とされている。唐津市の中からも視察に行ったと聞いた。基本目標の「にぎわう」の中にスポーツ・文化が付け加えられた理由は何か。	委員
○ スポーツ・文化を楽しむだけでなく、スポーツ・文化を通じて唐津市を訪れる人を増やすなど、もう1つ上のフェーズを意識してその体系となった。	事務局
○ 各基本施策の中でも繋がりが深いものがあると思うが、それはどのような見せ方で整理していくのか。	委員
○ 各基本施策が垣根を越えた繋がりがあことは理解している。各施策の横断的な部分の見せ方や管理については、今後研究をしていきたい。	事務局

○ 基本施策の名称はパブリックコメントに向けて今後変更していくのか。 ○ パブリックコメントの対象となるのは基本構想（主に将来像から基本目標までの部分）のみであるため、基本施策の名称についてはそれ以降に策定を進める基本計画の部分で考えていくことになる。現名称で固定することは考えていないため、随時ご意見をいただければと思う。 ○ 例えば、基本施策の15番「自然・歴史・文化を活かした生涯学習環境の整備と地域コミュニティの形成」に関しては、部活動等の地域移行の流れがある。文化のあとにスポーツ・レクリエーションの文言を追加してもよいと考える。	委員 事務局 委員
4 閉会 以下余白	